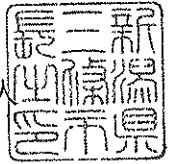




国土交通省道路局長 様

三条市長 國定勇人



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について (回答)

貴職におかれましては、日本国土発展の基礎となる道路事業を精力的に推進されていることに対し、心から敬意を表すと共に、地方発展のため更なる力添えをお願いするものであります。

さて、ご依頼の中期的な計画の作成にあたっての意見について次の通り回答しますので、よろしくお願いいたします。

記

**重点化を進める上で特に優先度の高い政策
効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと**

国も地方も財政が厳しい状況のなか、施設整備全般に言われることであるが、道路についても「この道路もあの道路も」ではなく、やはり事業の優先度を考え、重点化は進めていかざるを得ないし、どの道路を優先的に建設していくのか、選定していく仕組みづくりを構築していかなければならないと思う。

そのなかで公共交通機関の発達している都市圏とそうでない地方圏とは事情はかなり違い、それぞれの考え方には差があり、お互いの理解は難しいし、同じものさしでは計れない、画一的な見方、決め方でなく都市圏と地方圏または、幹線道路と生活道路のそれぞれの道路事業に対する評価制度が必要と考える。

三条で欲しい道路の指標がどのくらいか、透明性のある、誰にでも算出でき、できれば数値的な表示ができる基準が作成されれば良いと思っている。

今地方では、医師や医療施設不足が進んできているなか、我が三条市を含む県央地域に救急救命センターの建設を考えており、そのアクセス道路は大切と思っているし、その他、交通量では計れない防災や過疎化対策なども評価の要素として当然必要と思う。

その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

道路特定財源については、まだまだ地方において必要な道路の建設が遅れており、特財に対する期待は大きいものがある。

特財について、国土交通省と総務省などとの連携強化を図り、地方にもっと充填されるよう幅広い運用を図っていただきたい。

その他、道路ストックの運用管理面で、例えば高速道路のスマートインター設置について高速道路を地域とより密接に連携し効率的に利用できるよう、更なる支援をお願いしたい。

また、今後増加する道路の維持管理経費に対する支援の強化など、今ある施設を長く利用できるよう、メンテナンス面でサポートすることは総体的に経費の節減になると考えられる。

以上、思いついたものを述べさせていただいたが、地方においてはまだまだ道路整備は必要であることを重ねて申し上げ、立派な計画が作成されますことを祈念申し上げ、意見とさせていただきます。